

原水爆禁止世界大会 2018IN広島

概要

2018年の8月4日から6日の3日間、原水爆禁止世界大会が広島で開催され、宮崎生協病院の研修医3名、看護師2名、事務2名、宮崎医療生協組員から2名が参加しました。今年4月に入職した職員にとっては、①現地で平和を守る運動に直接肌で触れる ②貴重な平和教育の場となっています。この大会の歴史は長く、1955年8月に広島で第1回目、翌56年に長崎で第2回目が開かれて以来、世界中の人々と連帯して毎年、広島・長崎で開催されています。

1945年8月6日午前8時15分、広島に世界で初めて原子爆弾が投下され、一瞬にして、数万人の人々が命を落としました。このような悲しい歴史を持つ広島で核兵器を使用しない、また、核兵器を廃絶するという意志を持った人々たちとの平和運動に参加することで、核兵器の非人道性、戦争の悲惨さを改めて認識しました。広島市内には原爆投下時の遺構や記念碑が数多く残されており、それらの多くが広く一般に公開されており、広島赤十字原爆病院では爆風によってゆがんだ窓枠や、原爆資料館では当時の生々しい被害の状況が当事者の証言や記録と共に多く残っていました。

現在、被爆を直接体験された方々は、多くが高齢化し、語り手も減少しています。そのような中で、原爆の記憶が風化し、忘れ去られることが懸念されており、少しでも多くの人々に核兵器の恐ろしさを理解して欲しいという思いと、核兵器廃絶を訴え続けてきた歴史の重みを感じることができました。

私たちは広島平和公園の中で8月6日の平和記念式典に参加し、8時15分に黙とうをささげました。黙とうをささげる間、私は73年前に原爆で亡くなった方々の冥福を祈りました。そして、「二度とあのような悲惨な戦争を繰り返させない」、「核兵器を地球上に存在させてはいけない。」という気持ちを新たに、それを次の世代へと語り継いでいく事を広島の地で眠る御霊に誓い宮崎へと戻りました。



病院から千羽鶴を折って会場まで届けました。



会場の様子



集合写真

健康祭りの紹介

宮崎生協病院では11月4日に健康祭りをを行い、今年も多く参加を頂きました。秋空の下およそ1,000名の来場者となりました。オープニングは宮崎市立榎中学校の吹奏楽部演奏、当瀬雅大実行委員長の開会あいさつで始まり、エイサーや幼稚園・保育園園児のダンス、フラダンス、に太極拳と、最後は恒例のひよっとこの演出。最後に福田須満子副実行委員長の閉会あいさつで、楽しい1日を過ごしました。



宮崎生協病院 学内学習会

Study association

参加費
無料

宮崎生協病院では11月より毎月1回、宮崎大学内で学内学習会を行っています。今回の学習会は宮崎生協病院循環器内科医師 高田慎吾医師より「心電図の読図」についての学習を行っていきます。実際の症例を基にした学習になりますので、皆さん是非ご参加ください。シリーズ形式での講義ではないので、どの回からの参加でも大丈夫です。



第1回
「心電図の読図Ⅰ」
11月8日(木)

第2回
「心電図の読図Ⅱ」
12月13日(木)

第3回
「心電図の読図Ⅲ」
2019年1月10日(木)

第4回
「心電図の読図Ⅳ」
2019年2月14日(木)

特別講義
「心臓エコー検査実習(病院での実習)」
2019年3月

皆さんの参加お待ちしております！

参加申込みはこちらから

申し込み・問い合わせ先

宮崎民医連 医系学生サポートセンター (担当: 内村、宮田、松浦) E-Mail: kiyotake-bunsitu@iga.bbq.jp
TEL 0985-85-9717 携帯 090-5937-6403